

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	文化財保護に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	1	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	埋蔵文化財については遺漏の無いよう保護をしていくとともに、新たな指定物件や要保護物件の検討を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	埋蔵文化財について遺漏の無いよう保護をしていく。外部との打合せ記録簿を作成し、情報共有の徹底を図る。引き続き、新たな指定物件や要保護物件の検討を行う。
②①に基づく取り組み結果	窓口対応の徹底を図るとともに、情報について、共有を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内遺跡、指定文化財等	意図(対象をどうするのか)	現状保存を目指す、不可能な場合は発掘調査等による記録保存を行う。
②事務事業の概要	文化財の指定・指定文化財の管理・埋蔵文化財発掘調査に係わる業務を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	首都圏近郊に位置する本市の地理的環境により、各種開発の波が市内にも及び、埋蔵文化財(遺跡)の保存策を講じる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市指定文化財29点中、市所有以外の26件の管理・活動に報償を支払った。埋蔵文化財確認のあった49件の事業に対し、埋蔵文化財包蔵地に該当する7件及び下総小金中野牧跡(捕込)整備のための確認調査を行った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 発掘調査件数	9	8	8	業務取得
	ii 発掘調査面積	4,511	1,861	1,444	m ² 業務取得
	iii 埋蔵文化財窓口確認数	745	730	827	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	5,123	4,950	金額(千円)	内容	14,893
国支出金(千円)	1,500	1,400	300	市指定文化財管	6,400
県支出金(千円)	371	350	2,994	市内遺跡発掘調	1,301
市債その他(千円)	0		358	文化財説明板設	0
一般財源(千円)	3,252	3,200			7,192

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	文化財を未来に伝えていくための保護業務を引き続き行う。埋蔵文化財保護は開発に伴うことから予測が困難				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	文化財保護事業は行政の責務であり、調査件数が増加すると見込まれる中、今後も継続して実施する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	文化振興に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	1	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	芸術文化活動への参加機会の更なる周知を図る	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	芸術文化活動への参加機会の更なる周知を図る
②①に基づく取り組み結果	市民参加の機会の創出及び参加者の募集		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内に在住・在勤・在学する人	意図(対象をどうするのか)	芸術文化に関心を持ち、豊かな情操を身につけ自らも活動する。
②事務事業の概要	芸術文化事業(市民文化祭、市民美術展覧会、芸術鑑賞教室等)の実施。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	行政が提供する事業を鑑賞するという受身的な意識から「行政とともに事業を作り、運営する」という協働型の事業展開を望む市民(団体)の増加が予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市民文化祭の実施及び市展の共催、芸術鑑賞教室(能楽・歌舞伎・文楽・美術)の実施。					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 鑑賞教室応募者数	433	425	380	人	業務取得
	ii 主催芸術文化事業参加・発表者	1,910	1,836	1,866	人	業務取得
	iii 市主催芸術文化事業来場者数	6,975	10,619	10,137	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	3,731	1,694	金額(千円)		1,712	
	国支出金(千円)		1,057	非常勤職員賃金		
	県支出金(千円)		25	芸術鑑賞教室		
	市債その他(千円)	736	300	市民文化祭負担		
	一般財源(千円)	2,995	1,694		1,712	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	芸術鑑賞への関心が高まっており、市民の多様な芸術趣向に応え、多くの市民が参加できる機会や、来場のきっかけを作っていくことが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	芸術文化の発表機会、鑑賞機会の提供は地域の文化を大切にする社会の構築に不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	周知普及事業等の実施により、更に市民周知度を上げるとともに、整備事業を進めていく。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	周知普及事業等の実施により、更に市民周知度を上げるとともに、整備事業を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	周知イベントを行い、市内外に史跡の重要性を伝えた。史跡整備基本設計案を作成した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	国史跡下総小金中野牧跡 捕込・野馬土手	意図(対象をどうするのか)	市民に親しまれる史跡をめざし、周知及び、保存整備を図る。
②事務事業の概要	国史跡下総小金中野牧跡の維持管理、周知普及および史跡整備事業を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	史跡を保護するために国史跡として公有化を進め、指定後は周知普及に努めた結果、市の地域資源として市民に浸透してきたことにより、事業実施時などに整備を望む声が寄せられている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	清掃委託業務及び職員による作業によって、捕込の維持管理を行った。また、周知普及イベントを10件行い、史跡の重要性について伝えるとともに、広く史跡の存在についてPRした。整備実施計画に基づき整備基本設計を作成中である。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	国史跡取得面積	6,000	6,000	6,339	m ²	業務取得
	ii	周知普及事業参加者	8,610	7,838	4,441	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	4,353	2,691	金額(千円)	内容		41,165	
	国支出金(千円)		192	検討委員会報償		29,188	
	県支出金(千円)		499	清掃管理委託		2,432	
	市債その他(千円)		2,000	実行委員会負担		0	
	一般財源(千円)	4,353	2,691			9,545	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	史跡地を公有化し、保護活用・整備し、更なる周知の裾野を広げることを目指して、事業展開していくことが必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	史跡地を公有化し、保護活用することは芸術・文化の振興を図るうえで極めて重要で、整備をして、周知する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	周知普及・整備実施計画作成	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	清掃管理業務、普及活用イベントの実施	6,780	6,780	当初	6,780	2,691	H26からの繰越
				H26⇒27繰越			
③達成状況	未完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由	成果品(整備基本設計)の完成が遅れるため。			流用・充当			2,691
		平成28年度への繰越額(単位:千円)		4,061			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多目的グラウンド整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	27年度に設計と整備工事を行うよう事業の進捗管理を適正に行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	実施設計及び工事完成		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	多目的グラウンド	意図(対象をどうするのか)	軽スポーツ等に参加する場所の整備し多くの市民にスポーツに親しんでもらう。
②事務事業の概要	中沢地区に多目的グラウンドを設置する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年、グラウンドゴルフ等の軽スポーツが盛んなことから、多目的グラウンド利用の利用者は増加するものと予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	実施設計及び工事は27年度に完了した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	実施設計の完成	0	0	1	業務取得(完成を1とする)
	ii	整備工事の完了	0	0	1	業務取得(完成を1とする)
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	1,632	30,364	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			5,324	実施設計		
県支出金(千円)			23,829	整備工事		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	1,632	30,364			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	28年度の供用開始に伴い、利用者が円滑に利用できるよう、グラウンドの維持管理を行っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	多目的グラウンドの整備が完了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	多目的グラウンドを整備するため実施設計及び工事を行う	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	実施設計及び工事を実施し多目的グラウンドを整備した。	30,921	36,245	当初	30,921	H26からの繰越	5,324	
				H26⇒27繰越	5,324			
③達成状況	完了			補正	0	30,364	現年分	25,040
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				平成28年度への繰越額		0		

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	東野少年野球場改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	笠井真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度のみのものであるため、前回の評価なし。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度中に整備工事を行うよう事業の進捗管理を適正に行うとともに、球場利用者への安全指導により、県営住宅入居者へ配慮を行う。
②①に基づく取組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	東野少年野球場の防球ネット及びトイレ	意図(対象をどうするのか)	防球ネットの設置及びトイレの改修
②事務事業の概要	東野少年野球場隣接地に県営住宅が建設されることから、ボールが県営住宅に行くのを防ぐため防球ネットを設置するとともに、老朽化したトイレの改修を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後も宅地開発等によりスポーツ施設周辺に住宅等の建物が建設されるが予想されることから安全対策を講じていく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	防球ネットの実施設計を行い、設計書が完成した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	実施設計の完成	0	0	1		業務取得(完成を1とする)
	ii	整備工事の完了	0	0	0		業務取得(完成を1とする)
iii							
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	0	1,393	金額(千円)	内容	41,407		
国支出金(千円)			1,393	実施設計			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	0	1,393			41,407		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	防球ネット設置までの間の、球場利用者への安全指導				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	隣接地に建設された県営住宅の入居者への配慮のため、必要な事業である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	東野少年野球場改修するため実施設計を行う。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	実施設計完了	3,748	3,633	当初	3,748	H26からの繰越	0
③達成状況	完了			H26⇒27繰越	0		
④未完了・非着手の理由				補正	0	1,393	現年分
		流用・充当	-115				
		平成28年度への繰越額					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	郷土資料館の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	6	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	ソフト(展示・教育普及)には市民ボランティアを活用し、ハード(施設)では簡易修繕制度を利用し引き続き整備する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	ソフト(展示・教育普及)には市民ボランティアを活用し、ハード(施設)では簡易修繕を利用し引き続き整備する。
②①に基づく取り組み結果	市民ボランティアによる常設展示のガイドや教育普及の補助を行った。修繕ではトイレの内装等修繕を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	先人の足跡を辿りその生活等を知ること、ふるさと意識の醸成をはかる。
②事務事業の概要	鎌ヶ谷市の歴史、自然などに関する資料を収集、保管して調査研究をするとともに、展示事業や教育普及事業を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生涯学習においては、市民の私的欲求を満ち文化財保護や郷土意識の心をはぐくむこと。学校教育においては、教育現場での効果的な学習ができるように支援することが必要。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	(1)郷土資料の収集 (2)常設展示 (3)企画展示 (4)講座・教室 (5)講師派遣					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 来館者数	6,286	5,524	5,285	人	業務取得
	ii 展示事業実施回数	3	3	3	回	業務取得
iii 教育普及事業実施回数	39	69	62	回	業務所得	
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	9,180	10,176	金額(千円)	内容	8,246	
国支出金(千円)			54	市史編さん審議会		
県支出金(千円)			10122	施設管理運営費		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	9,180	10,176			8,246	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ソフト(展示・教育普及)を担う市民ボランティアのさらなる育成と、ハード(施設)の計画的な修繕				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	収集、調査、研究をし、展示事業や教育普及事業を行う。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	鎌ケ谷市史編さん事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	『鎌ケ谷市史【下巻】』、『市史研究』第30号、及び『鎌ケ谷のあゆみ(4訂版)』を刊行。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	市史編さん終了後の史料の散逸を防ぐ方策を検討。『鎌ケ谷市史【下巻】』、『市史研究』第30号及び『鎌ケ谷のあゆみ(4訂版)』を刊行。
②①に基づく取組み結果	市史刊行計画に沿った27年度事業については、停滞なく完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	先人の足跡を辿りその生活等を知ること、ふるさと意識の醸成をはかる。
②事務事業の概要	『鎌ケ谷市史刊行計画』に基づき、郷土の歴史、民俗等に係る資料を収集・調査し、鎌ケ谷市史の執筆・刊行を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内に残されている自然、民俗などの資料や文化財を収集・保存し、展示することを目的とした郷土資料館が昭和62年に開館。生涯学習・学校教育において歴史の関心が高まる中、市史が完成していないことや資料の多くが展示できていない状況。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	(1)郷土資料の整理調査、史料調査(51件)、史料整理・目録作成(4,425点)を行った。 (2)新たに発見、確認された重要な歴史事項についてまとめた『鎌ケ谷市史研究』第29号を刊行。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習・学校教育の場での利用者	8,414	7,332	10,050	人	業務取得
	ii	刊行物点数	2	1	1	点	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	8,926	8,632	金額(千円)		内容		13,300
	国支出金(千円)		312		印刷製本費		
	県支出金(千円)		8,320		市史編さん委託		
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	8,926	8,632			13,300	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市史編さん終了後、編さんのため収集した史料の散逸				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市史刊行計画に沿った事業を進める。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	『市史研究』第29号の刊行	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	市史研究650冊	8,790	8,790	当初	8,790	8,632	H26からの繰越	0
				補正			現年分	8,632
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由								
		平成28年度への繰越額(単位:千円)						